

# ゴルフ日本女子オープン優勝

# 快挙たたえ電報や花

ゴルフの日本女子オープン選手権で、笠間市出身の畑岡奈紗選手(17)＝ルネサンス高3年＝がアマチュアとして初めて頂点に立つ快挙から一夜明けた3日、同市内の畑岡選手の自宅には祝福の電報や花などが届き、畑岡さんと両親のスマートフォン(スマホ)にはお祝いメッセージが相次いで寄せられた。市は優勝をたたえる垂れ幕を準備中で、地元のみならず、笠間地区などに設置し、市民で喜びを分かち合いたいと考えた。



たくさんの花や祝電に笑みを浮かべる畑岡奈紗選手＝笠間市内の自宅

## 畑岡選手 祝福の“嵐、やまず

「まだ実感が湧かず本当に夢のよう」  
大会最年少優勝記録も塗り替える初優勝について、畑岡選手は自宅でも穏やかに語った。

来週は米国プロ大会のシード権を得るための試合に出場予定。激闘を終え、この日はつかの間の休息となった。

自宅には朝から、橋本昌知事をはじめ、出身幼稚園、小学校在校時の校長、友人、面識のないファンなどからの電報や花が次々に届けられた。畑岡選手と両親のスマホには優勝が決まった直後から、無料通信アプリ「LINE(ライン)」で700件を超すメッセージが寄せられた。

「これだけの祝福をいただき、うれしいと同時にびっくりしている」。畑岡選手は驚き交じりの笑顔を見せた。

市はさまざまな形で祝福していく方針。市役所や出身の市立笠間中、JR笠間駅、市笠間支所の計4カ所に垂れ幕を掲げることを決めたほか、祝賀会の開催も検討する。特別表彰については「もっと飛躍する選手」(山口伸樹市長)と判断し、期待を込めて見送るといふ。

畑岡選手は、「たくさんの方の応援があることを改めて実感できた。これを忘れず、世界で活躍できる選手になり、海外メジャー大会や五輪を制覇したい」と表情を引き締めた。

(今井俊太郎)